コンピュータ演習 第12回配布資料

今回から第15回までの授業では、「総合的な演習」に取り組みます。

第12回	映像的なプレゼンテーションの作成(1)
第13回	映像的なプレゼンテーションの作成(2)
第14回	プレゼンテーションの相互評価
第15回	相互評価の結果の集計、まとめ

今回と次回で、映像的なプレゼンテーションを制作します。

- プレゼンテーションソフトを使って、映像作品を作成しましょう。
- 「情報倫理」を題材に、ストーリー性のある内容で、情報社会の問題点に対する注意をうながすことを目的にします。
- 「リハーサル機能」を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

連絡事項

この授業では、学習支援システムの「Moodle」で授業を進めていきます。出席の確認や、課題の提出などに利用します。 学内からだけでなく、自宅や外出先からでもアクセスできます。

- アドレス: https://moodle.hyogo-dai.ac.jp/
- スマートフォンやタブレット端末でも利用できます。



今回の内容

- 1. 情報倫理の概説
 - ○情報倫理について
 - プレゼンテーションのトピックの選択

今回の課題

- •課題:情報倫理を啓発するプレゼンテーションの制作
 - (1) 情報倫理のトピックの決定
 - ○(2)映像的なプレゼンテーションの制作

情報倫理の概説

情報倫理について

情報社会において、私たちがお互いが快適な生活を送るためには、**情報通信技術の利便性と危険性**、また、**トラブルや事件か6身を守るための法律やマナー**を理解する必要があります。

「情報倫理」

インターネット社会(あるいは、情報社会)において、生活者がネットワークを利用して、互いに快適な生活をおくるための規範や規律

(情報教育研究会・情報倫理教育研究グループ編(2025)「インターネットの光と影 Ver.7」 より引用)

プリントやMoodle上での資料をもとに、次のポイントを理解しながら、「情報倫理」全般について説明します。

- パソコンやインターネットの操作だけが重要ではない
- 情報社会の進展に伴う利便性と危険性
- 問題となっている事象の背景にある仕組み
- ネット上のコミュニケーションも現実のコミュニケーションと同じ

情報倫理のトピックの選択

今回と次回(第12回~第13回)の2回分の授業で、情報機器(パソコン、携帯電話、スマートフォン)やインターネット を利用する際に起こりうる、トラブルや犯罪の危険性を訴える、「啓発」を目的としたプレゼンテーションを作ります。

自分やまわりの人たちの体験、ネット上の資料をもとして、公共広告のテレビCMのような映像作品を制作します。視聴の対象を、高校生から大学生(10代後半~20代前半)とします。

プレゼンテーションで扱う「**トピック**」について、下の表から1つだけ選択してください。

「関連キーワード」は、トピックに関連する用語や語句で、問題となる現象やその原因などをまとめたものです。トピックに関する情報を調べたり、プレゼンテーションをまとめるときの参考にしてください。

番号	トピック	関連キーワード
1	個人情報の漏えい	個人情報やカード情報の流出、不正アクセス、USBメモリの紛失・盗難、 パソコン・スマホの廃棄、パスワードの管理、不正アプリ、アカウントの乗っ取り
2	嫌がらせ・誹謗・中傷	荒らし行為、フレーミング、炎上、ネットいじめ、デマ、犯罪予告、匿名性、 名誉毀損、業務妨害、リベンジポルノ、SNSでの不適切投稿
3	迷惑メール	ダイレクトメール、スパムメール、チェーンメール、デマメール、 メールフィルター機能、チェーンLINE
4	売買のトラブル	ネットショッピング、ネットオークション、フリマサイト(アプリ)、エクスローサービス、 ネズミ講、違法物品や危険物の販売・出品、チケットの不正転売
5	コンピュータウイルス	マルウェア、ウイルス対策ソフト、データの改ざん・消去・流出、システムの機能不全・破壊、 踏み台、ファイルの偽装、ランサムウェア、
6	著作権の侵害	文章・音楽・映像・ソフトの違法コピー、キャラクターの無断使用、無断で引用(剽窃)、コピペ、動画共有サイト、違法ダウンロード、海賊版、生成AI(生成系AI)
7	ネット詐欺	架空請求、不当請求、ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺、なりすまし、詐欺サイト、 SNS型投資・ロマンス詐欺
8	情報の信ぴょう性	クチコミ、 うわさ、 デマ、 流言、 拡散、 SNS、 X(IBTwitter)、 Wikipedia、 情報源、 風評被害、 フェイクニュース

第12回の課題:情報倫理を啓発するプレゼンの制作

(1) 制作するトピックの決定(今回のみ)

制作するトピックの選択

プレゼンテーション制作を希望する、「情報倫理」のトピックを1つ決めてください。決まったら、次のようにして希望 するトピックに投票してください。

- 1. 『制作するトピックの選択』をクリック
- 2. 希望するトピックのチェックボックスをクリックし、「私の投票を保存する」ボタンをクリック
- 3. 投票結果が表示される
- もし間違えて希望と違うトピックを選択した場合は、再投票すれば、希望するトピックを変更できます。

各トピックを選択できる人数には上限があります。このクラスの上限数は、「5人」です。

上限を超える場合は、授業担当者が抽選で選びますが、できれば自主的にテーマを変更してください。

決定したトピックの報告

トピックが決まったら、Moodleを使って、選択した理由などを報告してください。

- 1. 『制作するトピックの報告』をクリック
- 2.「質問に回答する ...」というリンクをクリック
- 3. 選択したトピックや選択した理由などを入力して、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリックすれば、報告完了!

(2) プレゼンテーションの作成(今回と次回;次回提出)

今回と次回で、「**情報倫理の選択したトビックに関するプレゼンテーション**」を作成します。プレゼンの目的は、トピックに関する危険性や注意点について、関連する事例を「ひとつのストーリー」として説明することで、情報倫理を啓発するということです。

作品の内容

- 1. 視聴対象は、高校生から大学生(10歳後半~20歳前半ぐらい)
- 2. スライドの枚数は、8枚以上(多くても10枚程度)
- 3. スライドの構成は、場面ごとに考える
 - 第1場面: 表紙(選択したテーマ: スライド1枚)
 - ○第2場面:起承転結の「起」
 - ○第3場面:起承転結の「承」
 - ○第4場面:起承転結の「転」
 - ○第5場面:起承転結の「結」
 - 第6場面:まとめ(スライド1枚)
 - 第7場面:対策
 - 第8場面:この作品について(スライド1枚)
- 4. プレゼン全体を、「60秒前後」(60秒 ± 15秒程度)で再生する
 - スライドショーを自動的に実行する「リハーサル機能」を設定すること
 - 見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
- 5. 第2~5場面は、被害にあう・加害を起こしてしまう事例を紹介する
 - ○起承転結のストーリー形式にまとめて、最後は悪い終わり方(バッドエンド)にする

- 6. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる
 - **必ず**インターネット上の詳し〈解説された情報をもとに作成すること
- 7. 第7場面は、被害にあわない・加害を起こさないための対策を示す
 - ○被害にあわない・加害を起こさないために登場人物がとるべき行動・手段を「別ルート」として提示
- 8. 第8場面は、制作者(学籍番号、氏名)と参考にした情報をまとめる
 - ○事例として参考にした情報(URL)を、1つ以上を掲載
 - ○解説や注意点の参考にした情報(URL)を、1つ以上を掲載
 - ○ただし、Wikipadiaは参考にしてはいけない

作品を制作するときの注意点

作品を制作したあと、相互評価(自分と他者の作品の評価)をします。そのときに使用する、統一した評価ルール(評価ポイントとその基準)があります。

7つの評価ポイントとその基準(**ルーブリック**)を事前に公開します。評価ポイントごとの基準に注意して、作品を作成しましょう。

ファイルの保存

編集ができたら、次のようにして、ファイルに保存してください。

- 1. 「ファイル」タブをクリックして、「名前を付けて保存」を選択
- 2. 保存する場所に「このPC」を選択した後、「参照」をクリック
- 3. ウィンドウが開いたら、保存する場所(「コンピュータ演習」などのフォルダ)を選択
- 4. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)
 - 例: 学籍番号がT2251000の場合、ファイル名は「情報倫理t2251000.pptx」

課題の提出

この課題は、次回(第13回)の授業で提出してもらいます。注意してください。